授業科目 生活援助技術 I

【担当教員名】 岡田 史	対象学年	1	対象学科	社会（介護福祉コース必修選択）
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	60

【概要・一般目標：GI0】

- ・ 自立に向けた移動の介護の目的を理解し、その技法を身に付ける。
- ・ 自立に向けた食事の介護の目的を理解し、その技法を身に付ける。

【学習目標・行動目標：SBO】

- 1) 安全で的確に移動・移乗できる介助の技法について実践できる。
- 2) 安全で的確に食事できる介助の技法について実践できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	移動の意義と目的	1	講義、演習
2	移動に関する利用者のアセスメント	1	演習
3	安全で気兼ねなく動けることを支える介護の工夫	1	演習
4	外出の環境づくり、社会参加における工夫	1	演習
5	余暇活動、レクリエーションにおける工夫	1	演習
6	人体部位の名称	1,2	演習
7	ボディメカニクス	1	演習
8	移動に関連したところとからだの基礎知識	1	演習
9	移動に関連したところとからだのしくみ	1	演習
10	食事に関連したところとからだのしくみ	2	演習
11	歩行介助の技法 I	1	演習
12	車いす介助 I	1	演習
13	安楽な体位の保持 I	1,2	演習
14	体位変換 1	1	演習
15	体位変換 2	1,2	演習
16	感覚機能が低下している人の移動介助の留意点	1	演習
17	運動機能が低下している人の移動介助の留意点	1	演習
18	認知・知覚機能が低下している人の移動介助の留意点	1	演習
19	食事の意義と目的	2	演習
20	食事に関連する利用者のアセスメント	2	演習
21	おいしく食べることを支える介護の工夫	2	演習
22	食卓の環境づくり、食器の工夫	2	演習
23	献立に興味を持ってもらうための工夫	2	演習
24	安全で的確な食事介助の技法	2	演習
25	感覚機能が低下している人の食事介助の留意点	1,2	演習
26	運動機能が低下している人の食事介助の留意点	1,2	演習
27	認知・知覚機能が低下している人の食事介助の留意点	1,2	演習
28	誤嚥、窒息防止のための日常生活の留意点	1,2	演習
29	脱水予防のための日常生活の留意点	1,2	演習
30	まとめ	1,2	演習、講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料	実習の手引き			

【評価方法】 出席状況・演習内容等で総合評価する。	【履修上の留意点】
------------------------------	-----------